

令和1年度（平成31年度）事業報告書
平成31年4月1日から令和2年3月31日まで

NPO法人 NEXTEP

1 事業の成果

【小児在宅支援ステップ】

小児専門の在宅支援として、「訪問看護」「ヘルパー」「福祉有償運送」「相談支援」「障害児通所支援事業」を実施。多職種、複合サービスによる在宅支援の体制は、全国的にも先進的な取り組みとなっている。直接的なサービスに限らず、「施設及び訪問見学の受け入れ」「小児訪問看護研修会、多職種研修会」「訪問看護ステーション向けの相談窓口」「小児慢性特定疾病児童等自立支援相談事業」等幅広いアプローチを通して、地域を超えた小児在宅支援の体制整備、普及に取り組んだ。また、令和2年度4月開設準備として、熊本市南区近見へ「障害児通所支援事業」の施設整備を行った。

【不登校児サポート事業フィールド】

不登校児サポート事業では、月1回の活動を継続し実施している。毎回の活動の振り返り等を通してスタッフの対応を検討し、活動内容の質的向上を目指した。引き続き子どもたちの将来的な自立を目指しながら、成長を見守っていく。

【就労サポート事業】

「久遠チョコレート熊本店」では、令和2年3月末時点で19名を雇用。アルバイトを経て短時間正職員として雇用したスタッフや、企業就職を叶えたスタッフもあり、当初の目的である「社会的自立に向けたステップアップ」をより具現化することができた。

また、久遠チョコレートの運営をきっかけに、より継続的な若者支援を行うことを目指し、令和2年度4月スタートの就労継続支援A型事業所 開設準備を行った。

【異業種交流会・講演会 フォーラム】

異業種交流会・講演会事業では、子どもたちを取り巻く諸課題について、一般の方に参加いただき、支援の輪を広げることを目指した講演会を実施した。

※虹の森クリニック坂野真理先生講演（令和1年10月／演題：心や行動に困難を抱える子どもたちのケア／参加者数：70名）

※熊本市教育長遠藤洋路氏講演会（令和1年12月／演題：熊本市教育委員会の挑戦／参加者数：51名）

【法人全体】

法人全体での事業「青空フェス」「ファミリーキャンプ」を通して、お子さんに障がいがあっても“家族でお出掛けする”ということが当たり前になるよう後押しするイベントを実施した。難病とその家族のための屋外イベント「青空フェス」（平成31年4月）の来場者は年々増加し、今回ついに800名となった。飲食店、遊びブース、またボランティア等多くの協力の元を実施。多くのご家族、こどもたちの笑顔あふれる場を実現することが出来た。また、秋には家族間交流、レスパイトを

目的に、熊本県内外から難病の子どもと家族（4 家族 19 名）を対象にしたファミリーキャンプを実施。ご家族にとっては今後のお出掛けにも大きな自信を生むと同時に、観光施設やバス会社との受入れにあたっての調整を通して、社会の側の障害を減らしていく働きかけの一つになる事が出来た。

2 事業の実施に関する事項

(1) 特定非営利活動に係る事業

定款の 事業名	事業内容	実施 日時	実施 場所	従事者 の人数	受益対象者 の範囲及び 人数	支出額 (千円)
不登校児サポート事業	農作業体験	月 1 回	合志市	10 人	合志市近郊の不登校 児とその家族 3～5 組 一般参加者 5～15名/1回	520
	勉強会・講演会	年 2 回	合志市	10 人	合志市近郊 90 人	
就労サポート事業	久遠チョコレート 熊本	毎日	熊本市	13 人	熊本市近郊 1日1～4人	33,422
介護保険法、健康保険法に基づいた訪問看護事業	訪問看護事業	毎日	熊本県	11 人	合志市近郊 1日20人	66,461
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく障害福祉サービス提供事業および地域生活支援事業	居宅介護事業	毎日	熊本県	8 人	合志市近郊 1日20人	27,032
障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律、児童福祉法に基づく相談支援事業	相談支援事業	毎日	熊本県	3 人	合志市近郊 1月8人	48
児童福祉法に基づく障害児通所支援事業	児童発達支援事業・放課後等デイサービス事業	毎日	熊本県	10 人	合志市近郊 1日5人	34,469
道路運送法に基づく福祉有償運送サービス事業	福祉有償運送事業	毎日	熊本県	6 人	合志市近郊 1月9人	0

異業種交流会・講演会事業	不登校児サポート事業と共同で講演会を実施	不登校児サポート事業 勉強会・講演会参照				0
その他目的を達成するために必要な事業						